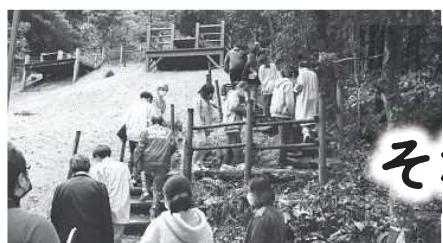


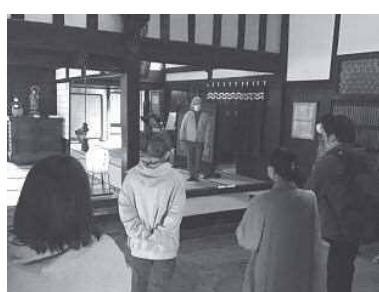
碧雲通信

発行日 令和4年12月15日
 発行者 宍道高校通信制課程
 松江市宍道町宍道1586
 TEL 0852-66-7577・FAX 0852-66-7117
 印刷所 (有)木次印刷

【碧雲通信名前の由来】たなびく雲の下にあお(碧)く輝く宍道湖を、江戸時代の文人・菅茶山は「碧雲湖」と名づけ、その美しさを称えました。これを新しい高校の通信誌名として拝借しました。



まっさらな雪原を
それぞれの歩みで進んでいこう



木幡山荘・八雲本陣・荒神谷遺跡へフィールドワークに行ってきました。

▶ 12・1月号の掲載内容

- | | |
|--------------------------------|--|
| ○教務部より | ○保健相談部より |
| 後期試験について…………… (2) | 通信制第2回大掃除について…………… (9) |
| 後期試験範囲と要点…………… (4) | スクールカウンセラー(SC)の来校日程 …… (9) |
| ○総務部より | ○教育開発部よりより |
| 卒業予定生のみなさんへ…………… (8) | まなびのキセキ☆発表会 参加者募集について… (10) |
| ○進路部より | |
| 令和4年度 島根県就職内定者合同研修(2月)の案内… (9) | ホームページ https://www.shinji-h.ed.jp |

教務部より

後期試験について

1. 受験資格

- ・各講座の後期レポートがすべて合格締切日までに合格していること。
- ・各講座の後期の面接時数（スクーリング出席時数）を満たしていること。
- ・「受験願」を提出していること（1月12日（木）17:00必着）。

2. 日程

日にち	レポート提出	受験願	後期試験	
			宍道	隠岐※1
12月29日（木） ～ 1月3日（火）	土日および年末年始は受け付けない すべて1月4日以降の受付となる			
1月4日（水）	レポート受付再開	受け付け開始		
1月5日（木）	レポート合格締切（17:00必着） 以降は受け付けない	土・日・祝日は受け付けない		
1月12日（木）	「総合的な探究の時間」 第3回レポート合格締切（17:00必着）	提出締切（17:00必着） 以降は受け付けない		
1月17日（火）		T1・協T1変更願 提出締切（17:00必着）		
1月19日（木）			試験日 木T1	
1月22日（日）			日T1	協力校試験日 (1/21、1/22) 協T1
1月23日（月）			月T1	
1月24日（火）		T2・協T2変更願 提出締切（17:00必着）		
1月26日（木）			木T2	
1月29日（日）			日T2	協力校試験日 (1/28、1/29) 協T2
1月31日（火）		再試験申請締切（17:00必着）		
2月1日（水）			再試験（※2）	本校のみ
2月8日（水）		追認試験申請締切（17:00必着）		
2月12日（日）				協力校追認試験
2月13日（月）		追認試験		

（※1）隠岐高校（協力校）で受験できるのは8Aルームの隠岐に住所がある生徒のみです。

（※2）再試験受験には条件があります。学習のてびきP13参照。

3. 試験を実施する講座と試験範囲

後期試験は、総合的な探究の時間以外のすべての講座で実施する。

実施講座の試験範囲と要点参照。(体育・音楽・情報処理の試験はすべて実技である)

4. 受験手続き

(1) 「受験願」の記入と提出

①各講座の受験日、時間を決める。

(碧雲通信9・10月号の時間割で確認し、他講座と重ならないように気をつける)

②各講座の「受験願」に必要事項を正確に記入し、生徒バーコードシールを貼り付ける。

必要事項：ルーム、氏名、受験場、受験日、時間を記入する。

③「受験願」を期日(1月12日(木)17:00必着)までに提出する。

(2) 注意事項

①「受験願」に記入した日時で受験すること(やむを得ない事情により変更する場合は、6.①参照)

②「受験願」は、漏れのないように正確に記入し、記入後、点検をして提出すること。

5. 受験上の注意

①机上に置く物は、「生徒証」(※)と鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、定規のみ。

教科書、学習書、レポート、ノート、筆箱、携帯電話(電源はオフにする)等はカバンに入れ、机の横に置く。(指示があった講座は電卓・コンパスも可)

②カンニング等の不正行為、それを疑われるような行為をしない。

(不正行為をした場合、その試験は0点とする。)

③受験途中的退出はできない。時間いっぱい取り組む。

④試験開始後5分以上遅刻した場合は、受験できない。

⑤試験中は携帯電話の電源を切り、カバンに入れておく。カバンがない場合は試験監督に預ける。アラーム設定をしている人は、必ず解除しておく。試験中、携帯電話を身につけた状態で鳴った場合は不正行為と見なし、その試験は0点とする。

⑥試験中は、特別な理由がある場合を除いて、帽子やマフラー、手袋等防寒具の着用、ひざ掛けの使用は認めない。

⑦腕時計は、計時機能のみのものを使用する。

〔生徒証について〕

※生徒証は受験票として氏名、写真が見えるようにして机上に置きテストを受けること。

※生徒証を紛失した場合は、早急に再発行の手続きをし、試験までに対応しておくこと。

※万一、生徒証を当日忘れた場合は、受験の前に事務室で仮生徒証を発行してもらい、必ずその日のうちに返却すること。

6. その他

①受験日をやむを得ず変更せざるを得ない場合のみ、「受験願【変更】」を提出する。その際必ずルーム担任に早急に連絡すること。

受験願【変更】提出締切：変更後の受験日がT1・協T1 → 1月17日(火)17:00必着
T2・協T2 → 1月24日(火)17:00必着

②その他『学習のてびき』P14～P15を参照のこと。

試験日連絡先

穴道高校 電話(0852)66-7574【職員室】

(0852)66-7577【事務室】

〈協T〉 隠岐協力校 電話 080-1917-1128

※協力校の電話は、試験当日8:30～14:30の間のみ。

後期試験範囲と要点

国語

講座名	現代の国語(後半)	言語文化(後半)	現代文B(後半)	古典B(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	<ul style="list-style-type: none"> ○評論「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 ○隨想「鍋洗いの日々」 ○隨想「りんごのほっぺ」 ○隨想「無彩の色」 ○評論「真の自立とは」 	<ul style="list-style-type: none"> ○訓読の基本「訓読」「格言」 ○漢文「五十歩百歩」 ○漢文「論語」 ○小説「こころ」 ○詩「こころ」「日本海」 ○評論「僕らの時代のメディア・リテラシー」 ○古文「芥川」「筒井筒」(『伊勢物語』) ○短歌と俳句「折々のうた」 ○評論「経験の教えについて」 	<ul style="list-style-type: none"> ○隨想「ワスレナガサ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○大鏡「弓争ひ」 ○古典の常識あれこれ ○「四面楚歌」時利あらず・項王の最期 ○源氏物語「光る君誕生」「若紫」 ○「水魚之交」「死諸葛走生仲達」 ○「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」
範囲レポート	後半 第1回～第3回	後半 第1回～第3回 (第3回は「折々のうた」の部分を除く)	後半 第1回～第6回	後半 第1回～第6回
学習の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書本文をくりかえし読みおきましょう。1回は音読をしておくとよいです。 ●漢字の読み書きも含めて、レポートの内容を中心に出題します。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。 ●筆者独特的の着眼点や発想に留意し、筆者が重要視していることからについて理解し、説明できるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レポートの内容を中心に出題しますが、応用問題もあります。→教科書本文は繰り返し読んでおきましょう。 ●現代文では漢字の読み書きを覚え、抑揚や表現に気を配り、味わいを深めつつレポートの内容と本文を見比べて復習しましょう。 ●「芥川」「筒井筒」は、語句の読み・意味、現代語訳をはじめ、レポートの内容と教科書を見比べて、繰り返し復習しましょう。 ●漢文では本文の内容、語句の読み・意味、書き下し文、現代語訳など、レポートの内容がしっかりと定着するよう復習しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レポート内容を中心に出題しますが、一部、応用問題もあります。 ●教科書の文章を見ながら復習しましょう。 ●小説の作者名を漢字で正しく書くことができるようになります。 ●小説は登場人物の言動、心理描写や心理の変化およびその原因などについて説明できるようになります。 ●詩や短歌、俳句は、作品に込めた作者の思いや感動、および表現技巧などについて説明できるようになります。 ●隨想や評論は筆者独自の着眼点や発想に留意し、筆者が重要視していることからについて理解し、説明できるようになります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レポートの内容を中心に出題しますが、応用問題もあります。 ●「大鏡」・「源氏物語」は語句の読み・意味、現代語訳をはじめ、レポートの内容と教科書を見比べて、繰り返し復習しましょう。 ●漢文は、書き下し文・現代語訳をはじめ、レポートの内容がしっかりと定着するよう復習しましょう。 ●「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」は、語句の読み、現代語訳、修辞法(体言止め・枕詞・序詞・掛詞)の使用などを確実に答えられるように復習しましょう。 ●「古典の常識あれこれ」(第1回レポートの3ページ目)からも必ず出題します。準備をしておいてください。

地理歴史

講座名	世界史B(後半)	日本史B(後半)	地理B(後半)
担当者	本誌にて確認ください		
教科書範囲	教科書 P150～257 学習書 P94～172	教科書 P140～274 学習書 P114～224	教科書 P227～329 学習書 P128～200 ※地図帳 レポートに対応するページ
範囲レポート	後半 第1回～第6回	後半 第1回～第6回	後半 第1回～第6回
学習の要点	<p>☆出題内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、学習書、レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりとおきましょう。 ・時代の特徴や流れ、基本的な重要語句を見直しておきましょう。 ・地図、統計グラフ、絵画など教科書やレポートに出てくる資料からの出題もあります。 ・特に地名や地域名は確認しておきましょう。 <p>☆解答する上での注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書において漢字で示されているものは、必ず漢字で答えてください。 	<p>☆レポートの内容から出題します。各レポートの見直しをしっかりとおきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸三大改革から明治・大正・昭和・平成の時代の内容を出題します。 ○時代の流れをつかむことが大切です。細かい年号も大切ですが、事件の起きるきっかけや政策転換の理由など、時代の背景を説明できるようにしておきましょう。 ○振り返り、調べ学習からもいくつか出題するので見直してください。 ○教科書において漢字で示されているものは必ず漢字で答えてください。人物名はフルネーム、事件名も省略せずに書きましょう。 	<p>☆出題内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主にレポートの内容から出題します。教科書、学習書、地図帳、授業のプリントをよく見直し、学習した内容を再確認しましょう。 ○後期は地誌が中心です。その地域の自然・地形・気候・歴史・文化・産業、日本とのような関わりを持っているのかなど、自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。 ○その事象の背景や原因を理解することが大切です。グラフや図を読み取り、説明できるようにしておきましょう。 ○国名や都市名などは、地図帳や写真(図)で位置や国土を確認しておきましょう。 ○教科書において、漢字で示されているものは漢字で答えましょう。

公 民

講座名	公共(後半)	倫理(後半)	政治・経済(後半)
担当者	本誌にて確認ください		
範教科書	教科書 P112~195 学習書 P130~250	教科書 P75~80、P92~188、 P195~217 学習書 P57~61、P68~138、 P149~168	教科書 P112~221 学習書 P86~173
範レポート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	☆出題内容について ①レポート ②教科書、学習書 ①主にレポートの内容を中心に出題します。重要語句などは特に見直しておきましょう。 ②用語や人物名をただ暗記するのではなく、自分の言葉で、漢字を使用して、説明できるように、教科書をよく読み、問題文をよく読み、何を問われているか考えて慎重に答えましょう。	☆出題内容について ○主にレポートの内容を中心に出題します。問題形式は変える部分もあります。注意しましょう。 ○教科書、学習書をよく読み、語句の意味を問われても、自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。 ○多くの思想家がでてきますが、それぞれの人物が生きた時代や社会の様子を確認しておきましょう。 ○特に指定がない限り、解答は漢字でかけるよう練習しておきましょう。	☆出題内容について ①レポート ②教科書、学習書 ①主にレポートの内容を中心に出題します。重要語句などは特に見直しておきましょう。 ②用語や人物名をただ暗記するのではなく、自分の言葉で、漢字を使用して、説明できるように、教科書をよく読み、問題文をよく読み、何を問われているか考えて慎重に答えましょう。

数 学

講座名	数学Ⅰ(後半)	数学Ⅱ(後半)	数学A(後半)	数学入門(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	P54~139 第2章 2次関数 第3章 三角比 第4章 集合と論証 第5章 データの分析	P76~157、P162~167 第3章 三角関数 第4章 指数関数と対数関数 第5章 微分と積分	P42~101 第2章 図形の性質 第3章 整数の性質	P89~163 第2章 「数と式(因数分解)」 第3章 「関数」 第4章 「平面图形」 第5章 「データの分析」 発展学習 「調べてみよう！」
範レポート	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	◎レポートを中心に復習しておきましょう。 2次関数 () の2乗を作る計算(頂点を求めるための計算)が確実にできるようにしておく必要があります。グラフのかきかた、頂点・軸の求め方、最大値・最小値の求め方についてもよく確認してください。2次方程式は因数分解・解の公式を利用して確実に解けるようにし、図を用いて2次不等式を解く手順を確認しておきましょう。 三角比 第4回レポート12Cの三角比の値を覚えておくこと、正弦定理や余弦定理などの公式を利用した解法の流れを確認しておきましょう。 集合と論証 語句は必ず覚えること、命題の真偽や必要条件・十分条件が確実に答えるようにしておきましょう。 データの分析 代表値について計算できるようにしておきましょう。 ※定規は携行してください。 ※分度器・電卓等は持ち込めません。	三角関数 三角関数の値の符号、グラフ、相互関係、加法定理などの基礎知識。 相互関係・加法定理・2倍角の公式を用いて、三角関数の値を求める。(三角関数の値の正負を書く) 指数関数と対数関数 対数関数の性質や、指数・対数関数を含む計算。 指数・対数関数の大小関係。(底が1より大きいか小さいか書く) 微分と積分 微分・積分の基本公式や、公式を用いた計算。 微分を用いて、増減表からグラフを描く。 積分を用いて、2つの放物線に囲まれた面積を求める。 注1: 各レポートの穴埋め形式の問題は、必ず解けるようにする。特に、定義や公式は正しく書けるようにしておく。 注2: 分度器・電卓等は持ち込めません。	レポートを中心に復習しておきましょう。 图形の性質 图形の辺の長さや角度を求める問題を中心に出題します。各種图形の性質を理解し、教科書やレポートの問題をしっかりと解けるよう繰り返し練習しておきましょう。 整数の性質 レポートの問題が穴埋めでなくとも解けるように、解法の手順をしっかりと確認しておきましょう。 ※定規・コンパスは持ち込み可です。定規は携行してください。 ※分度器・電卓等は持ち込めません。	因数分解 公式を正しく覚える。因数分解は全パターン解けるようにする。 平方根 平方根の意味や性質、√を含む計算。 1次方程式・2次方程式 1次方程式の基本的な解き方。(かっこ()は外し、小数・分数は整数に変形してから解く) 2次方程式は、平方根の考え方を使う場合と因数分解を利用する場合、解の公式を使う場合の3パターンで正しく解けるようにする。 1次関数・2次関数 座標、グラフの作図。 平面图形 相似形の性質を使った計算問題。三平方の定理を正しく覚え、問題に当てはめる。 データの分析 グラフの種類とそれぞれの特徴を理解し、どのグラフでも書けるようにしておく。 度数分布表、ヒストグラムが書けるようにする。 代表値、四分位数を求めて箱ひげ図が書けるようにする。

理科

講座名	科学と人間生活(後半)	物理基礎(後半)	化学基礎(後半)	生物基礎(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書 P14~37 P180~207	教科書 P96~163	P88~105 P110~129 P134~155	P98~193
範レポート回数	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	レポートの内容を中心に出題します。微生物の種類と名称、発酵の種類やどんな食品が作られるのかをよく理解しましょう。微生物を利用した科学技術もしっかり学習しましょう。自然災害に関する内容では、日本の周りにあるプレートや地震の発生、火山の形とマグマの性質や特徴などもしっかりと復習しておきましょう。「～について説明せよ」という記述問題も出題します。しっかり書けるように練習しましょう。	レポートの問題を基に出題しますが、問の形式、数値などは変えます。もう一度レポートをやり直すつもりで、教科書・学習書をよく読みながら復習をしておきましょう。数値計算をする問題も出題します。公式や単位をおさらいしておきましょう。計算は簡単なものしか出ませんので電卓等の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出題します。 1章では、物質量、溶液の濃度、化学反応式の係数が表すものとその関係を重点的に復習しましょう。 2章では、酸・塩基の定義、酸・塩基の価数と強弱、中和反応の量的関係を重点的に復習しましょう。 3章では、酸化・還元と電子の動き、金属のイオン化傾向と電池の関係を重点的に復習しましょう。 計算は簡単なものしか出ませんので電卓等の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出題します。体内環境では、自律神経のはたらき、ホルモンのはたらき、血糖値の調節をよく理解しておきましょう。免疫のしくみやそのしくみを利用した予防や治療、その異常による病気も大切です。生態系では、遷移やバイオームについてそれぞれの特徴、炭素や窒素の循環についてよく理解しておきましょう。生態系の保全については、温暖化や外来生物について理解を深めておきましょう。「～について説明せよ」という記述問題も出題します。しっかり書けるように練習しておきましょう。

保健体育

情報

講座名	体育1~5(後半)	保健(後半)	講座名	情報I(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	実技試験のみ行います。ただし、受験するには各講座(体育1~5)のレポートの後半第1回(体育3は第2回も)が合格している必要があります。	P76~129 P130~ 保健編・用語解説(試験範囲の用語について)	教科書範囲	P62~81 P90~109
範レポート回数	後期に選択(申請)した種目の実技試験を行います。体育1~5で併修(2講座受講)している人は、それぞれの講座(科目)ごとに試験を受けます。	後半 第1回~第3回	範レポート回数	後半 第1回~第3回
学習の要点	○それが選択した種目で、基本的な技術の実技試験を行います。 ○受験する際の服装は、許可されたものに限ります。違反した場合の受験は認めません。 ※試験の時※ 運動するのにふさわしい服装で、各選択種目の活動場所に集合してください。	○主にレポートの内容に沿って出題しますが、出題の形式は変わることがあります。 ○レポートの内容は教科書中心ですが、学習書も関わっていますので、教科書、学習書をよく読んで学習しておきましょう。	学習の要点	3章 コンピュータを活用する 4章 データを活用する 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変更する場合がありますので教科書をよく読み理解しておきましょう。

芸術

講座名	音楽Ⅰ(後半)	音楽Ⅱ(後半)	美術Ⅰ(後半)	美術Ⅱ(後半)	書道Ⅰ(後半)	書道Ⅱ(後半)
担当者	本誌にて確認ください					
教科書範囲	教科書 P18、19	教科書 P112	写真の発明と表現の多様化 P32、33、P44～47 P108～113	具象表現と抽象表現 P6～10、 P20～21	・レポート1～3回で扱ったページ 「古典作品」 P40～48、 P64～65 「生活に広げる」 P124～129	・レポート1～3回で扱ったページ 「古典作品」 P14～19 「仮名の書」 P66～81 「漢字仮名交じりの書」 P2～12、P82～87
範례ポート	第1回 音楽の仕組み 第3回 日本の音楽	第2回 音楽史 第3回 現代の音楽	すべての内容 (第1回～第3回)	すべての内容 (第1回～第3回)	すべての内容 (第1回～第3回)	すべての内容 (第1回～第3回)
学習の要点	<p>①春よ来い②夏は来る③みかんの花咲く丘④うさぎ⑤紅葉⑥冬景色の中から1曲を歌唱もしくは器楽演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート最終ページに必要なことを記入して当日持参してください。 ・試験用紙がないと受験出来ません。 ・予約無しでも受験出来ますが、1時間の受験枠を越えた希望者がいる場合は、受験日を変更してもらう場合があります。「その日でなければ」という場合は予約をしてください。 	<p>レポートもしくはスクーリングで編曲した「どじょっこふなっこ変奏曲」の歌唱または器楽演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート最終ページに必要なことを記入して当日持参してください。 ・試験用紙がないと受験出来ません。 ・予約無しでも受験出来ますが、1時間の受験枠を越えた希望者がいる場合は、受験日を変更してもらう場合があります。「その日でなければ」という場合は予約をしてください。 	<p>・レポート1～3回の各ポイントを確認しておきましょう。 ・レポート第3回の内容を年表と合わせて確認しておきましょう。</p>	<p>・レポート1～3回の各ポイントを確認しておきましょう。 ・抽象表現の成り立ちと特徴、代表的な作家を教科書やプリントで確認しておきましょう。</p>	<p>・筆記試験のみです。 ・レポートの内容(用語の説明、行書・隸書の特徴、仮名の成立、篆刻と落款等)を中心に出題しますが、教科書の古典作品もよく観ておきましょう。 ・「日常生活と書」と題して作文を書いてもらいます。 考えておきましょう。</p>	<p>・筆記試験のみです。 ・レポートの内容(作品と作者、漢字仮名交じりの書、仮名等)を中心に出題します。 ・教科書の古典作品もよく観ておきましょう。 ・最後に作文があります。</p>

外国語

講座名	英語コミュニケーションⅠ(後半)	コミュニケーション英語Ⅱ(後半)	英語表現Ⅰ(後半)	英語入門(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	Lesson 7～Lesson 10	Lesson 6～Reading 2	Lesson 11～Lesson 20	Part 9～Part 16
範례ポート	後半 第1回～第4回	後半 第1回～第6回	後半 第1回～第3回	後半 第1回～第3回
学習の要点	<ul style="list-style-type: none"> ○各レッスンの本文を読み(できるだけ音読をすすめます)、話の概要をつかんでおく。 ○各レッスンの本文に出てくる単語や熟語、英語表現を整理し、覚えておく。 ○教科書と学習書のTargetのページ、またスクーリング時に配布したプリントを熟読して、各レッスンの文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートの内容を中心に出題します。レポートの各問い合わせについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしてておくこと。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書や学習書を見直し、復習する。また各レッスンを音読して内容や英語表現(本文の次のページのTargetにあるもの)を理解しておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしておくこと。 ○各レッスンの単語や熟語を書けるようにしておくこと。 ○教科書P90～91の「文法のまとめ3」とP112～113の「文法のまとめ4」を読んで復習しておくよい。 ○各レッスンの文法事項について教科書や学習書、授業で用いたプリントを利用して復習し、理解しておくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書と学習書の各FOCUSのページ、またスクーリング時に配布したプリントを熟読して、各レッスンの文法事項をまとめ理解しておく。 ○レポートの内容を中心に出題します。レポートの各問い合わせについてポイントを押さえつつ、すべて答えられるようにしておくこと。ただし、問題の形式を変える場合や、一部、発展問題もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○試験範囲の例文を音読する。また例文の意味が分かるようにしておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしておくこと。 ○各レッスンの教科書の問題(Exercises)、やStoryを解いて復習しておくこと。 ○各レッスンの単語や熟語を書けるようにしておくこと。 ○教科書P99の「不規則動詞変化表」も覚えておくとよい。 ○各レッスンの学習内容を教科書、学習書、授業で用いたプリントを利用して復習し、理解しておくこと。

家庭

講座名	家庭総合(後半)	消費生活(後半)	子どもの発達と保育(後半)	生活と福祉(後半)
担当者	本誌にて確認ください			
教科書範囲	教科書 P160~185 P192~267 ※P186~191は除く 学習書 P98~167	教科書 P78~152	教科書 P60~108(第3章) P132~141(第5章)	教科書 P84~179
範レポート回	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 第11章 これからの生活を創造する 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書・学習書もよく読んで理解しておきましょう。	第4章 消費者の自立支援 第5章 環境と消費者 第6章 消費者契約と法 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。	第3章 子どもの生活 第5章 子どもの福祉と子育て支援 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがあります。教科書もよく読んで理解しておきましょう。	第4章 高齢者支援の法律と制度(3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム) 第5章 介護・看護の実習と生活支援(1節 介護の実習、2節 看護の実習、3節 生活支援) 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

商業

講座名	ビジネス基礎(後半)	簿記(後半)	情報処理(後半)
担当者	本誌にて確認ください		
教科書範囲	教科書 P114~199	教科書 P92~212	教科書 P118~311
範レポート回	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第5回
学習の要点	※電卓持ち込み 必須 第5章 企業活動の基礎 第6章 ビジネスと売買取引 第7章 ビジネス計算 第8章 身近な地域のビジネス 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 *電卓を忘れないように！	※電卓持ち込み 必須 ○補助簿の作成 ・商品有高帳 ・売掛金、買掛金元帳など ○決算整理仕訳 ○8桁精算表 ○3伝票と仕訳集計表 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 *電卓を忘れないように！	第3章 情報の収集と分析 第4章 ビジネス文書の作成 第5章 プレゼンテーション *EXCEL関数(計算式)の確認をしておきましょう。 *グラフの作成方法とグラフの内容を確認しておきましょう。 *データベースやSQLの内容について確認しておきましょう。 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わることがありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 *実技試験はありません。

総務部より

卒業予定生のみなさんへ

卒業納付金は、できるだけ後期試験期間中に事務室へ直接支払ってください。

また、郵送する場合は必ず現金書留で郵送してください。

○後期試験期間中【1月19日(木)~1月29日(日)】までにお願いします。

○納付金額(終身会費) 3,000円 … 緑の納付書と一緒に提出します。

進路部より

令和4年度 島根県就職内定者合同研修(2月)の案内

企業への就職が内定している高校生の皆さんを対象に、安定した就労を目指すことを目的として、毎年2月に研修が実施されます。就職内定者は全員必ず参加してください。日時・場所が決定次第、該当生徒には案内を送付しますので確認してください。

過去の研修内容：学生と社会人の違い、すぐに使えるビジネスマナー、報連相で社内コミュニケーションを高める、目標設定など



写真は過去実施の様子

保健相談部より

通信制第2回大掃除について

後期スクーリング最終日の12月18日(日)【日S20】に大掃除を実施します。各SHRのクラスに3限終了後に集合して下さい。

普段見逃しがちなところの掃除をお願いします。教室の環境を整えます。そして、終了後にSHRを行います。

スクールカウンセラー(SC)の来校日程【12月・1月】(予定)

スクールカウンセラー 嘉神 美咲 先生の来校日をお知らせします。

生徒のみなさんだけでなく保護者様のご相談にも応じてください(予約制)。ご希望の方は、SC担当までご連絡ください。その際には「ルーム・生徒氏名・スクールカウンセラーとの相談を希望したい」とお伝えください。予約状況をお知らせします。

※学校代表番号 (0852) 66-7577

来校日程は次のとおりです。

12月:19日(月) 1月:16日(月)・23日(月)

時間 11:15~15:00(変更する場合もあります)



教育開発部より

まなびのキセキ☆発表会 参加者募集について

令和5年2月16日（木）に行われる「まなびのキセキ☆発表会」の発表者を募集します。

【1 何をするの？】

①発表 ②展示

自分の好きなこと、興味のあること、取り組んでいる活動などの内容をまとめて、「こんなことをやっています」という発表もしくは展示を行います。発表の後には聞いていた人たちとの交流会もあります。個人でもグループでも構いません。

発表は1チーム7分程度、展示は1チームパネル1～2枚です。

【2 どんなことを発表するの？】

「総合的な探究の時間」で自分の好きなことや興味のあることなど、発表原稿を作った人はチャンスです。また「総合的な探究の時間」で調べたことではなくても、こういうボランティアに参加しました、とか、こういう習い事にはまっています、など、内容は何でも構いません。「こんな作品をつくってみた」という展示もいいですね。昨年は通信から「宍道高校のイメージソングを作ってみた」という発表がありました。

去年の発表の様子です。

(QRコード) →



【3 どうすれば参加できるの？】

「ちょっと興味がある」、「どういう感じなのかもう少し詳しく聞きたい」という人は

本誌にて確認ください (職員室・教育開発部) のところまで来てみてください。

【4 最後に】

自分が好きなことに取り組んでいる人は是非、それを誰かに伝えてみませんか？特に進学を考えている、就職面接などで何かアピールポイントが欲しい、という人は是非、この機会に人前で話す経験をしてみましょう。（もちろん特別活動の時間になります。）

申し込み締め切り1月末日（予定） みんなさんの参加をお待ちしています。

編 | 集 | 後 | 記

12月になりました。今年もあとわずかです。スクーリングもS20に入りました。当初の計画通りに、スクーリングとレポートは、進みましたでしょうか？できれば年内にすべてのレポート提出を終えて、お正月を迎えましょう。私たちの合い言葉は「あせらず、やすまず、あきらめず」です。最後までしっかり頑張りましょう。この言葉をかみしめながら、除夜の鐘を聞きましょう。